

月刊

河井克行



復興、
そして光あふれる明日へ。

平成 27 年

初夏
号

4月・5月・6月合併号

歴史的な米国連邦議会上下両院合同会議での演説を終えた晩、ホワイトハウス迎賓館「ブレアハウス」で寛ぐ安倍晋三内閣総理大臣と（4月29日）

第13次ワシントンDC出張

～安倍総理大臣の米国連邦議会演説に立ち会う～

4月28日(火)～5月2日(土)、河井克行代議士はこの二年間で13回目となるワシントンDCへの出張を行いました。今回の注目は何と言っても、安倍晋三内閣総理大臣による歴史的な米国連邦議会上下両院合同会議での演説を、連邦議員らと並んで下院本会議場の議席に着き傍聴したことです。29日(水)11時過ぎから約45分間行われた総理演説は、連邦議員たちが何度も何度も何度も総立ちで拍手を送る感動的なものでした。中でも河井克行代議士の心が最も動いたのは、「日本国と、日本国民を代表し、先の戦争に斃れた米国の人々の魂に、深い一礼を捧げます。とこしえの、哀悼を捧げます。」と安倍総理が述べた瞬間、満場の議員たちが立ち上がり、鳴りやまない拍手がつついたときでした。「ようやく日本の戦後が終わった」、そんな感慨が河井克行代議士の胸中に湧きました。午後は共和党・民主党の上院院内総務や外交関係・軍事関係委員長らと安倍総理との懇談会に陪席し、夕刻にはフリーア美術館の中庭で開かれた、日米関係の発展に貢献した人々を安倍総理大臣が招いたガラ・ディナーに出席。

戦後70年間の日米関係史において、後世から間違いなく「時代の扉」を開いたと評せられる瞬間に立つことができた充実感を噛みしめ、さらなる日米同盟の深化に取り組む決意を河井克行代議士は新たにしました。



演説終了直後、議事堂内で開催されたジョン・バイナー下院議長主催のレセプション、安倍総理とがっちり握手。出席した河井克行代議士旧知の米国議員たちは口々に総理演説を称賛していました



ブレアハウス正面から河井克行代議士が撮影。この二年間幾度となく足を運んだジョー・バイデン副大統領事務所や国家安全保障会議(NSC)が入るホワイトハウス・オールド・エグゼクティブ・ビルディングに掲げられた日米両国の巨大な国旗

第12次ワシントンDC出張

～安倍総理大臣訪米を一か月後に控え～

安倍総理大臣訪米への期待感が高まる中、3月23日(月)～26日(木)に行われた河井克行代議士のワシントンDC出張を振り返ります。



① 駐米日本大使公邸で開催された集いでキャロライン・ケネディ駐日大使と歓談 ② マンスフィールド財団で『戦後70年の日米同盟』を英語で講演。有力シンクタンクの日本・アジアの専門家が多数参加 ③ 旧知のデヴィン・ニューネス下院諜報特別委員長に対し、安倍総理大臣の議会演説についてジョン・バイナー下院議長への働きかけを要請 ④ マイク・ロジャース下院軍事委員会戦略軍小委員長と日米国会議員によるミサイル防衛協力作業部会の設立で合意 ⑤ ワシントンでは知らない者がいない『ネルソン・レポート』のクリス・ネルソン氏と「歴史認識」や「元慰安婦」問題について、約二時間昼食をとりながらみっちり意見交換を行いました ⑥ マシュー・グッドマン戦略国際研究所(CSIS)政治経済部長とTPP/TPAの展望について情報交換

安倍首相は大型連休中の訪米で、日本の首相として初めて米議会の上下両院合同会議で演説した。政府関係者の証言をもとに舞台裏を検証する。

訪米舞台裏

■前倒し発表
「議会」で演説をさせていただければ光栄です」

安倍首相は中東歴訪中の1月19日夕、イスラエル・エルサレムのホテルで会談した米国のジョン・マケイン上院軍事委員長(共和党)ら上院議員7人に、率直にこう語りかけた。

首相は昨年4月、オバマ米大統領の来日後自ら訪米計画を練ってきた。米議会での演説をその中核に位置づけ、外務省に根回しを指示していたが、良い感触は得られていなかった。

首相自らの要請に、マケイン氏は「ぜひ実現させよう」と快諾したという。

マケイン氏は、米議会上下両院で多数を占める共和党の大統領候補になったこともあり、影響力が大きい。政府が公表しなかったこのやりとりこそ、「首相のイスラエル訪問の最大の成果」(首相周辺)だった。

米議会演説 首相が直談判

首相はさらに、演説開催の決定権を握るペイナリー下院議長(共和党)への働きかけを強めた。首相に近い自民党の河井克行衆院議員は1月22日、ワシントンでペイナリー氏の側近とされる「米日議員連盟」共同議長のニューネス下院議員と会い、「協力してほしい」と口添えを頼んだ。「韓国系の支援を受けた議員が騒ぐ可能性がある」とも伝え、根回しも依頼した。

首相周辺は、「ペイナリー氏が、反対しそうな議員を抑え込んでくれた」と打ち明ける。政府は、韓国系団体が安倍首相の米議会演説を阻止する運動を展開していたことを踏まえ、早期決着に動いた。菅官房長官は3月23日の記者会見で、首相の訪米を正式発表したが、首相の外遊では、政府が国会に配慮し、正式発表は直前になることが多い。4月26日の発表まで1か月以上も前の発表は、異例だった。

「深い悔悟」極秘の推敲

前倒し発表の背景について、政府関係者は「首相訪米を正式に発表しないと、ペイナリー氏が演説開催を発表することもできない。韓国系に巻き返す時間を与えないために、ペイナリー氏にできるだけ早く発表させる狙いがあった」と説明する。ペイナリー氏は3月26日、「米国が日本との関係強化を続ける中、安倍首相を議会で歓迎することを楽しみにしている」と議会演説への招請を発表した。

「チライターの谷口智彦・内閣官房参与、今井尚哉首相秘書官(政務)を中心に、ごく少人数で進められた。関係者は、「事前に内容が漏れれば、韓国や中国が演説内容にけちをつけてくる可能性を考慮した」と語る。

3月中に原案は仕上がったが、最後まで首相が自ら推敲を重ねた。首相が最も腐心したのは、歴史認識に関する表現だった。演説では、第2次世界大戦で旧日本軍が米国人に被害を与えた「パールハーバー」や「バターン」という土地の名前に触れられ、

「痛切な反省」に加え、「深い悔悟」に言及した。悔悟(repentance)は反省(remorse)よりも重く、悔い改める意味がある。出席した議員らは拍手で支持を示した。中国や韓国が求める「謝罪」には否定的な首相が、謝罪に近い印象を与えるために選んだ言葉だった。

硫黄島「和解」演出

■特訓

実際に訪米した後も、首相の頭から29日の議会演説のことが離れることはなかった。ホワイトハウスで28日夜に開かれた公式晩さん会のあいさつでも、宿舎で連日、演説を特訓していることを明かした。

過去の議会演説のビデオを見て身ぶりや手ぶりを研

究し、原稿には「(顔を上げ、拍手促す)」などと書き込んでいた。演説のハイライトの一つは、70年前の硫黄島の戦いを経験したローレンス・スノーデン米海兵隊中将与、日本側の司令官だった栗林忠道中将の孫、新藤義孝・前総務相を首相が紹介し、2人が「和解」を象徴する握手を交わした場面だった。

高齢のスノーデン氏は演説の約10日前、体調を崩し、日本政府をあわてさせた。だが、スノーデン氏は「これは人生最後の戦いだ。必ず行くから心配しないでくれ」と政府関係者に伝え、約束を果たした。首相が29日の夕食会でスノーデン氏に謝意を伝えると、スノーデン氏は「素晴らしい演説だった」と称賛したという。

米国カリフォルニア州出張

安倍総理大臣の米国議会演説の実現に多大なご尽力をいただいたジョン・ベイナー下院議長の側近として知られ、下院に日本友好議員連盟「ジャパン・コーカス」を共同創設した議員が、デヴィン・ニューネス下院課報特別委員長です。河井克行代議士は会食を含み二年間で七回もの会談を積み重ね、信頼関係を築いてきました。5月24日(日)、地元カリフォルニア州トゥーレラ市の自宅を訪問し、安倍総理大臣からお預かりした総理直筆の感謝状を手渡しました。自宅でのバーベキュー・パーティでは、奥様と三人のお嬢様たちから心尽くしの温かい歓待を受けました。



また、スタンフォード大学国際問題研究所アジア太平洋研究所とカリフォルニア大学バークリー校(UCB)にアジア太平洋地域に精通する有識者を訪ねました。



1990年湾岸戦争当時のマイケル・アマコスト元駐日大使とスタンフォード大学で会談。安倍総理が進める日米同盟深化を隔世の感の面持ちで高く評価していました



エズラ・ヴォーゲル氏の子息であるスティーヴ・ヴォーゲル・UCB政治学部教授兼日本学研究所長と

第2次台湾出張

2月25日から26日まで河井克行代議士は台湾を訪れました。来年一月に行われる総統選挙の展望につき、与野党の要人やメディア関係者らと会談して情報を集めました



① 昨年11月統一地方選挙で大敗を喫した国民党の新しい主席に就任した朱立倫・新北市長と会談 ② いま台湾で最も人気が高い政治家、柯文哲・台北市長と会談。昨年無党派で当選するまでは国立病院救急医療外科医だった異色の人物 ③ 野党・民進党系シンクタンク台湾智库で『第三次安倍政権の外交・安全保障政策』を英語で講演 ④ 最大日刊紙で民進党寄りと言われる『自由時報』 吳阿明・社主と再会。美しい日本語、真直ぐに伸びた背筋、古き良き日本を体現される91歳です

第19次・第20次沖縄県出張

河井克行代議士の沖縄県出張は、第二次安倍政権発足後、ちょうど20回を重ねました。5月12日～13日と6月1日～2日、那覇市、名護市、金武町、浦添市、宜野湾市を回り、さまざまな立場の方々と意見交換を行いました。沖縄の信頼を得るためには、丁寧で粘り強く、かつぶれない姿勢を貫くことが求められます。現地の空気はやはり現地に通わないとわからないものだと、いまさらながら実感した河井克行代議士でした。



小禄邦男・琉球放送最高顧問



アルフレッド・マグルビー在那覇米国総領事

「8.20. 豪雨災害」復旧・復興 全体事業費は約573億円に

あの日以来、河井克行代議士は、被災地の復旧・復興に全力で取り組んでいます。被災者の皆様が住み続けたいと思われる安全で強靱なふるさとづくりの前面に立ち、必要な政府予算の確保にこれからも全力を挙げます。以下は、平成26年度および平成27年度以降の府省別事業費（概算）で、今後さらなる増額が見込まれます。

《国土交通省》 直轄の特定緊急砂防事業や河川等大規模災害関連事業、県の特定緊急砂防事業や河川等災害復旧事業への補助金など 約375億8000万円

《環境省》 災害廃棄物処理事業など 約117億円

《農林水産省》 国有林直轄治山事業、県の治山事業への補助金、農業施設災害復旧事業など 約72億7000万円

《内閣府》 県の災害救助や被災者生活再建支援金への補助金、市の災害弔慰金や災害援護貸付金への補助など 約6億4500万円

《文部科学省》 公立学校施設の災害復旧への補助金 約1億1000万円



安佐南区八木三丁目を視察する安倍晋三内閣総理大臣と河井克行代議士



衆議院本会議で土砂災害防止法改正案の代表質問を行う河井克行代議士



今日も河井克行代議士は被災地を歩きつづけます（安佐南区緑井七丁目）

「8. 20. 豪雨災害」被災地を視察

初めての梅雨期を前にした5月18日（月）、国土交通省中国地方整備局太田川工事事務所と広島豪雨災害対策現地推進室の案内で、河井克行代議士は安佐南区七箇所と安佐北区一箇所で進む国による緊急砂防堰堤建設予定地の視察を行いました。地元から大勢の皆さんもお集まりいただき、貴重なご意見をたくさんお聞かせいただきました。雨水の排水のあり方や小学校通学路の安全確保などについての鋭いご指摘は、これからの国・広島県・広島市の連携強化に活かしていきます。

なお今回視察した地区における最も早い砂防堰堤の着工予定時期を記します。

緑井七丁目【六月下旬】、緑井八丁目【七月】、八木三丁目【六月】、八木四丁目地区【六月】、八木六丁目・七丁目【六月中旬着工、来年二月末完成】、八木八丁目【七月】、可部東六丁目【八月】



緑井七丁目



八木六丁目・七丁目



可部東六丁目

「被災地にひまわりを」プロジェクトを応援します

～緑井・八敷自治会と広島修道大学学生が立ち上がる～

昨年の集中豪雨災害で甚大な被害を受けた緑井・八敷第八公園の花壇に、一周忌の八月二十日にたくさんのひまわりを咲かせようという動きが始まりました。5月31日（日）、真夏を思わせる陽射しの下で土おこしが、六月半ばには種まきが行われます。行政だけでは心の通う復興は成し遂げられません。今回の動きは、住民の皆様の発意による素晴らしいものです。河井克行代議士は心からの感謝を申し上げました。



地方創生をすすめる

安倍政権が推し進める地方創生を具体化するための予算が平成二十六年補正予算に盛り込まれました。地元自治体が考え出した、商工会によるプレミアム付商品券発行、子育て・婚活住宅補助、空き家改修補助、定住支援センタ設立、創業・起業活動費補助、観光客誘致や定住呼びかけ、農産品商品化補助、特産品づくり補助、婚活イベント開催補助、妊・産婦検診等助成など多様な事業に対して、《安芸高田市》1億1673万円、《北広島町》7624万円、《安芸太田町》5204万円がそれぞれ配分されました。

知恵のあふれる地域づくりを河井克行代議士は全力で応援します。



みなさまとのふれあいが 河井克行代議士の力になります



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12

《安佐南区》① 上温井神楽保存会の皆さんと今年も花見（3月29日）② 「上安・相田黒い雨の会」 役員の皆様が陳情に（5月16日）
 《安佐北区》③ 可部・中島交差点にて街頭国政報告（5月10日）④ 「にのみや医療・看護・介護グループ」 地域感謝祭で、白衣を着て
 “お医者さんコスプレ”を経験（5月10日）⑤ 被災地である安佐町筒瀬自治会総会に（5月17日）⑥ JR芸備線開通百年記念イ
 ベントIN狩留家（5月30日）《安芸高田市》⑦ 高宮・川根の花田植えて早乙女さんと（5月31日）《北広島町》⑧ 北広島町商工
 会青年部総会後の懇親会（4月18日）⑨ 北広島町観光協会総代会（5月29日）《安芸太田町》⑩ 安芸太田病院新本館竣工式（4
 月19日）《団体》⑪ 広島県建労第七地域連合広島大会（2月21日）⑫ 広島司法書士会総会（5月30日）

後援会のみなさまと



豊平地域国政報告会（2月21日）



恒例の「安佐町・河井克行を育てる会」新春
交歓会が盛大に行われました（3月15日）



島根県浜田市で開かれた安佐南区「やよい会」
の懇親旅行（5月11日）

「きさらぎ会」観桜会

3月31日夜、東京・音羽の鳩山会館において、派閥を超えた政治集団「きさらぎ会」（会長：鳩山邦夫・元総務大臣、会員数：118名）恒例の観桜会を行いました。幹事長を務める河井克行代議士は司会進行を担当。満開の夜桜の下、出席いただいた安倍総理大臣を交えて歓談を楽しみました。「きさらぎ会」はこれからも、強くて豊かな日本をつくる安倍総理大臣と菅義偉官房長官を支える中核政治集団として研鑽を積んでまいります。



自由民主党広島県第三選挙区支部 衆議院議員 河井克行事務所

国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 1208 号室
TEL：03-3581-5111(内線 71208) 03-3508-7518(直通) FAX：03-3508-3948

広島事務所

〒731-0153 広島市安佐南区安東 2-1-22
TEL：082-832-7301 FAX：082-878-3301

公式HP

<http://www.kawaikatsuyuki.com>

河井克行

検索